事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和02年07月01日（水）

事務事業	下水道使用料管理事務	担当課	企業経営課	担当係	料金係	管理番号	3919
第2次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政計画分野別施策名 大項目	200005 快適で利便性の高いまち（都市・生活基盤）	根拠法令個別計画等	深谷市下水道条例 深谷市下水道条例施行規程				
中項目	200001 都市整備の行き届いたまちづくり						
小項目	200002 水の安定供給と下水処理の適正化						

事業概要	公共下水道処理区域内の使用者に対して下水道使用料の調定・収納管理を行う。
目的 ※何のために	公共下水道事業に係る収入を確保する。
対象 ※誰・何を対象に	公共下水道処理区域内の使用者。
手段 ※どのように	公共下水道使用料の適正な調定・収納業務を行う。
成果 ※何を求めるか	公共下水道使用料収納率の維持向上。
執行体制	■ 市職員　■ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ 民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業	会計区分	款	項	目	細事業名	前年度決算額（円）
		00	00	00		0
		00	00	00		0
		00	00	00		0
		00	00	00		0
		00	00	00		0

本事業の主な業務	
・ 下水道使用料の調定・収納業務	・
・ 受付業務	・
・	・
・	・
・	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分			平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画								
事業費	予算（現額）		0	0	0	0	0	
	決算額		0	0	0	0	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	0	0	
		一般財源	0	0	0	0	0	
人件費	従事職員数（人）		0.00	0.00	1.30	1.25	1.25	
	人件費相当試算 ※1		0	0	10,219,300	10,185,000	10,185,000	
			0	0	0	0	0	
（総事業費試算）			0	0	10,219,300	10,185,000	10,185,000	

※1　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
		年度別目標値の設定根拠									
		実績値の出所・算出式									
■	活動指標１	下水道使用料調定額（税抜き）	目標値	百万円	0.00	1,190.00	1,221.00	1,358.00	1,393.00	1,443.00	□
			実績値		1,027.78	1,182.81	1,221.61	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		経営戦略収支計画の使用料収入額（税抜き）							
		当該年度実績									
■	成果指標１	下水道使用料収納額（税抜き）	目標値	百万円	0.00	1,183.00	1,214.00	1,350.00	1,385.00	1,434.00	□
			実績値		1,022.41	1,177.25	1,214.27	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		調定額（目標値）　×　下水道使用料収納率（目標値）							
		翌年度５月末日の実績									
■	成果指標２	下水道使用料収納率	目標値	%	0.00	99.40	99.40	99.40	99.40	99.40	□
			実績値		99.50	99.50	99.40	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		過去の収納実績を踏まえ目標値を設定（３ヶ年平均）							
		収納額÷調定額×１００									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 下水道使用料の適正な調定・収納業務が実施できた。
成果 （意図した成果が上がっているか）	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 上記活動の結果、下水道使用料の収納率は目標値を達成した。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	料金係長　　坂本　修

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	
達成状況 及び その効果	

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	下水道使用料管理事務	担当課	企業経営課	担当係	料金係	管理番号	3919

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 →
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

- □ 委託化等の検討
- □ 成果向上のための改善
- □ 効率化のための改善
- □ 事業規模の縮小
- □ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

下水道使用料管理事務は、事業運営の根幹を成す事務であることから、今後も適正な調定と確実な収納に努めることとする。

評価者	企業経営課長　　及川　勝隆

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

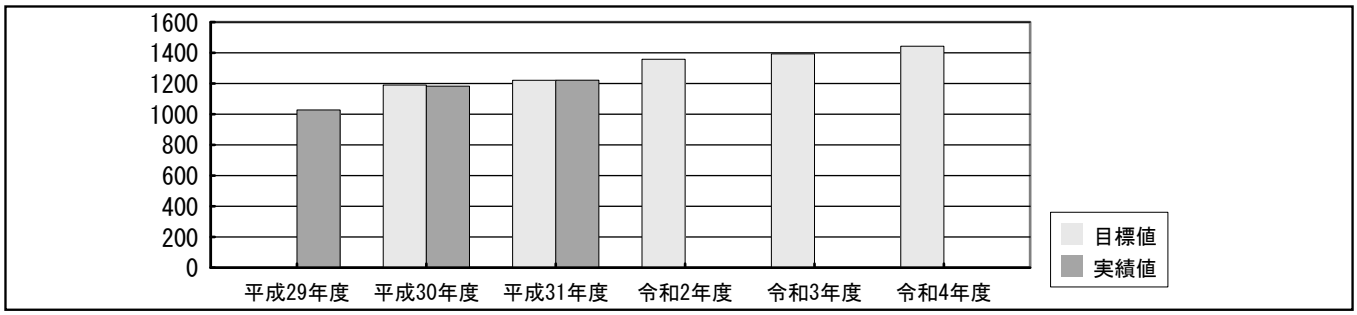
改善・改革案	

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

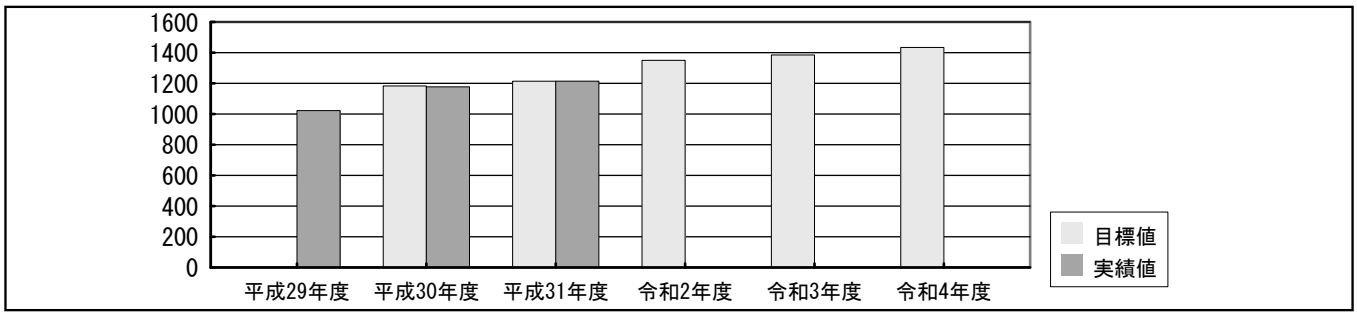
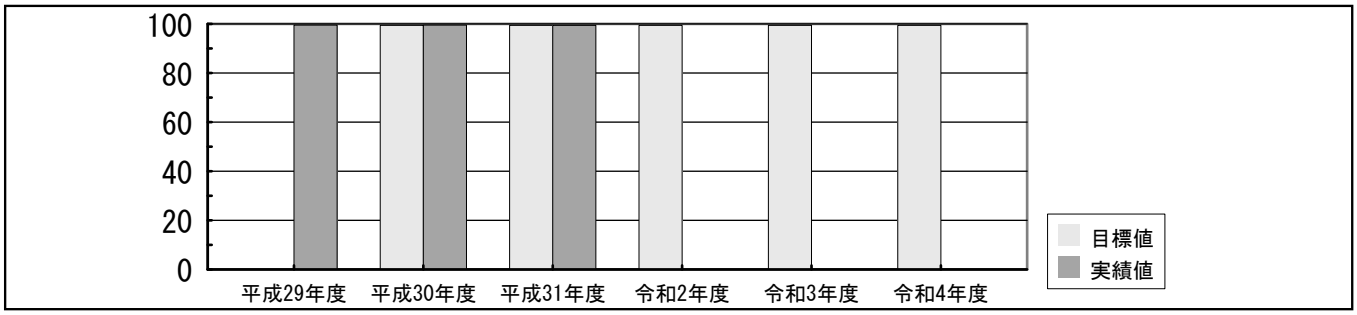
今後の課題	

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	下水道使用料調定額（税抜き）



区分	成果指標１	指標名	下水道使用料収納額（税抜き）



区分	成果指標２	指標名	下水道使用料収納率